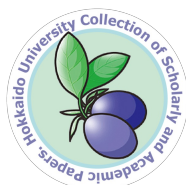




HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	北海道大学農学部附属植物園内で見られる鳥
Author(s)	市川, 秀雄
Citation	北海道大学農学部博物館研究紀要, 1, 54-57
Issue Date	2001-03
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/32806
Type	departmental bulletin paper
File Information	1_p54-57.pdf



北海道大学農学部附属植物園内で見られる鳥

市川 秀雄

はじめに

北海道大学農学部附属植物園は、札幌のほぼ中央に位置する。年間を通した利用者は約 13 万人（植物園年報、1994）で、教育・研究の場として利用されている。近年の自然保護思考が高まった中で、植物・動物などの野外観察会にも多く利用されるようになり、また植物園としても冬季観察会等を開催し、一般社会教育の場の提供を広く行っている。農学部附属植物園・博物館は研究者に限定することなく、入園者および観察会等に訪れる人々にデータ等を提供するため、長年にわたって各種の自然情報を収集している。今回その一部である、園内で観察される野鳥の観察データを紹介することとする。

植物園内の鳥リストを作成するにあたり、阿部永氏（元北大農学部教授・元博物館館長）、西村正二氏（元博物館職員）に深く感謝する。

1. 鳥リストの作成方法

植物園内で 1985 年から 1994 年までの 10 年間（表 1）で観察された留鳥・漂鳥・夏鳥・冬鳥・旅鳥を含めた、90 種の鳥のリストを作成した。観察の時間・季節は不定期である。配列は日本鳥類目録（日本鳥学会、2000）に従った。原則として亜種名は使用せず、科名・和名・学名・時節・観察環境（場所）の順に記載した。時節は月別に一度の確認もカウントに入れ、出現率を 3 段階にし、普通・希・極希に分けてグラフに表した。また科名の分類でコウライキジ・ドバトは外来種とし、表の末尾に明記した。

2. 結果および考察

作成した鳥類リストを表 1 に示した。確認された鳥類は 90 種に及んだ。

北海道の鳥と称されている約 240 種（松田、1984）（野山の鳥は高原の鳥・草原の鳥など〈30 種余〉に、水辺の鳥は河川・湖沼の鳥、海鳥〈200 種余〉などに細分化される）の内、植物園内で確認された鳥の総数は、この内の 37.5%にあたった。このように札幌市街地中央部で多くの鳥が観察される理由について以下考察する。

①環境条件

石狩低地帯の一角にある植物園は、豊平川の扇状地で肥沃に富み、開拓以前は園内の数カ所から伏流水が湧き出し、大木が鬱蒼と茂った原生林であったという。明治 19 年より始まった植物園整備計画の中で、原植生を残しつつ、多種に渡る樹木が植えられ、かん木や高山植物などの分園も整備され、120 年経った現在、多様で豊かな植生が形成されている。また、湧き水も鳥達に水場を与え、植物にとっても欠くことのできないものであり、生物相全体を維持する大きな要因の一つとなっている。

②渡りルート

石狩から苫小牧にかけての低地帯は、北東部に暑寒・夕張・日高、南西部に積丹・余市・恵庭の山々の中間部に位置している。現在は低地帯の殆どが農耕地、または都市を囲む住宅地となっており、必ずしも鳥には良好な生息環境とはいえない。しかしこの低地帯には葦原や湖沼が僅かに残っており、渡りの中継地として利用されている。前にも述べたように植物園はこの低地帯の一角にあり、水鳥類の観察記録は僅かではあるが、夏鳥・旅鳥の利用度が高く、季節的な出現頻度に差が生じることで明らかにされる。

③垂直分布

一時的に春・秋の季節は観察される種類が多くなるが、春の季節は特に顕著である（表 1）。一般に本州中部では、高山と平地で見られるものの差ははっきりしているが（黒田、1962）、北海道ではその差があまりなく、本州の高山帯で見られるものが、平地で普通に見られるようになることに起因していると考えられる。

3. おわりに

これまでに植物園内で一年間を通した調査では、西村正二氏が 1970 年代（未発表）に 75 種を、市川が 1993 年に 80 種、またこれとは別の北大構内で阿部永氏（北大野鳥研究会）が 1991 年に 89 種を確認している（阿部、談）。札幌の中心部で観察される鳥は約 80 種前後と考えられる。植物園は隠された都会の観察ポストになっており、訪れるバードウォッチャーも多くなってきている。

最近富みにカラスが多く、日中でも 200 羽を数え、夜ねぐらとしても利用している。またキツネも園内で繁殖を始めた。かれらは他の鳥達の生息を妨げつつあり、人間への被害も懸念されている。しかしこれも生態系の一つと考え、上手く付き合っていくことと、生活様式を見つつ、今後の生物相の変化を捉えていく必要性が不可欠であると考えている。

参考文献

黒田 長久	1962 動物系統分類学、脊椎動物（Ⅲ）	中山書店
松田 忠徳	1984 北海道探鳥ガイド	北海道新聞社
山階 芳麿	1986 世界鳥類和名辞典	大学書林
日本鳥学会	2000 日本鳥類目録	日本鳥学会
北海道大学農学部附属植物園	1994 北海道大学農学部附属植物園年報	北海道大学農学部附属植物園

表1.植物園内で見られる鳥

科	和名	学名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	観察される場所
カモ科	オシドリ	<i>Aix galericulata</i>													池または水辺
	マガモ	<i>Anas platyrhynchos</i>													池または水辺
	カルガモ	<i>Anas poecilorhynchos</i>													池または水辺
	コガモ	<i>Anas crecca</i>													池または水辺
タカ科	トビ	<i>Milvus migrans</i>													上空を飛翔
	オオタカ	<i>Accipiter gentilis</i>													針葉樹林
	ハイタカ	<i>Accipiter nisus</i>													針葉樹林
	ノスリ	<i>Buteo buteo</i>													広葉樹林
ハヤブサ科	クマタカ	<i>Spizaetus nipalensis</i>													針葉樹林
	ハヤブサ	<i>Falco peregrinus</i>													針葉樹林
	チゴハヤブサ	<i>Falco subbuteo</i>													針葉樹林
	ヤマシギ	<i>Scolopax rusticola</i>													薄暗い林
シギ科	セグロカモメ	<i>Larus argentatus</i>													上空を飛翔
	キジバト	<i>Streptopelia orientalis</i>													ローン
	アオバト	<i>Sphenurus sieboldii</i>													混交林
	ジュウイチ	<i>Cuculus fugax</i>													広葉樹林・低木林
カッコウ科	ツッコウ	<i>Cuculus canorus</i>													広葉樹林・低木林
	ツツドリ	<i>Cuculus saturatus</i>													広葉樹林・低木林
	オオコノハズク	<i>Otus lempiji</i>													針葉樹・広葉樹の枝または樹洞
	フクロウ	<i>Strix uralensis</i>													針葉樹・広葉樹の枝または樹洞
ヨタカ科	ヨタカ	<i>Caprimulgus indicus</i>													薄暗い林
	ハリオアマツバメ	<i>Hirundapus caudacutus</i>													上空を飛翔・樹洞
	カワセミ	<i>Alcedo atthis</i>													水辺
	ヤマザラ	<i>Picus canus</i>													針葉樹林・広葉樹林
キツツキ科	アカザラ	<i>Dendrocopos major</i>													針葉樹林・広葉樹林
	コガラ	<i>Dendrocopos kizuki</i>													針葉樹林・広葉樹林
	ヒバリ	<i>Alauda arvensis</i>													ローン
	ツバメ	<i>Hirundo rustica</i>													上空を飛翔
セキレイ科	イワツバメ	<i>Delichon urbica</i>													上空を飛翔
	キセキレイ	<i>Motacilla cinerea</i>													園路・ローン
	ハクセキレイ	<i>Motacilla alba</i>													ローン
	セグロセキレイ	<i>Motacilla grandis</i>													ローン
ヒヨドリ科	ビーンズイ	<i>Anthus hodgsoni</i>													ローン
	ヒヨドリ	<i>Hypsipetes amaurotis</i>													水辺の低木林
	モズ	<i>Lanius bucephalus</i>													針葉樹林・広葉樹林
	アカモズ	<i>Lanius cristatus</i>													低木林・灌木林
レンジャク科	キレンジャク	<i>Bombicilla garrulus</i>													針葉樹林
	ヒレンジャク	<i>Bombicilla japonica</i>													針葉樹林
	ミソサザイ	<i>Troglodytes troglodytes</i>													水辺の低木林
	コマドリ	<i>Erithacus akahige</i>													水辺の低木林
ミソサザイ科	ノゴマ	<i>Luscinia calliope</i>													明るい低木林
	ルリビタキ	<i>Luscinia cyane</i>													明るい低木林
	ノビタキ	<i>Tarsiger cyanurus</i>													水辺の低木林
	マミジロ	<i>Saxicola torquata</i>													明るい低木林
ツグミ科	クロツグミ	<i>Turdus sibiricus</i>													明るい低木林
	アカハラ	<i>Turdus cardis</i>													水辺の林
	シロハラ	<i>Turdus chrysolaus</i>													水辺の林・混交林
	マミチャヤジナイ	<i>Turdus pallidus</i>													水辺の林・混交林
	ツグミ	<i>Turdus obscurus</i>													水辺の林・混交林
		<i>Turdus naumanni</i>													水辺の林・混交林

科	和名	学名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	観察される場所
ウグイス科	ヤブサメ	<i>Urosphena squameiceps</i>													低木林・灌木林・笹原
	ウグイス	<i>Cettia diphone</i>													広葉樹林
	エゾセンニユウ	<i>Locustella fasciolata</i>													低木林・灌木林
	シマセンニユウ	<i>Locustella ochotensis</i>													低木林・灌木林
	オオヨシキリ	<i>Acrocephalus arundinaceus</i>													低木林・灌木林
	メオソムシクイ	<i>Phylloscopus borealis</i>													低木林・灌木林
	エゾムシクイ	<i>Phylloscopus borealoides</i>													低木林・灌木林
	センダイムシクイ	<i>Phylloscopus coronatus</i>													低木林・灌木林
	キクイタダキ	<i>Regulus regulus</i>													針葉樹林
	キビタキ	<i>Ficedula narissima</i>													池に面した広葉樹林
ヒタキ科	ムギマキ	<i>Ficedula mugimaki</i>													針葉樹林・広葉樹林
	オオルリ	<i>Cyanoptila cyanomelana</i>													池に面した広葉樹林
	サメビタキ	<i>Muscicapa sibirica</i>													池に面した広葉樹林
	コサメビタキ	<i>Muscicapa dauurica</i>													池に面した広葉樹林
エナガ科	エナガ	<i>Aegithalos caudatus</i>													針葉樹林
シジュウカラ科	ハシブトガラ	<i>Parus palustris</i>													針葉樹林・広葉樹林
	コガラ	<i>Parus montanus</i>													針葉樹林・広葉樹林
	ヒガラ	<i>Parus ater</i>													針葉樹林・広葉樹林
	ヤマガラ	<i>Parus varius</i>													針葉樹林・広葉樹林
	シジュウカラ	<i>Parus major</i>													針葉樹林・広葉樹林
ゴジュウカラ科	ゴジュウカラ	<i>Sitta europaea</i>													針葉樹林・広葉樹林
メジロ科	メジロ	<i>Zosterops japonicus</i>													低木林・灌木林
	アオジ	<i>Emberiza spodocephala</i>													低木林・灌木林
	クロジ	<i>Emberiza variabilis</i>													低木林・灌木林
ホオジロ科	オオジュリン	<i>Emberiza schoeniclus</i>													水辺の低木林
	アトリ	<i>Fringilla montifringilla</i>													混交林林庄
	カウラヒワ	<i>Carduelis sinica</i>													針葉樹林・広葉樹林
アトリ科	マヒワ	<i>Carduelis spinus</i>													針葉樹林・広葉樹林
	イスカ	<i>Loxia curvirostra</i>													針葉樹林
	ウソ	<i>Pyrrhula pyrrhula</i>													針葉樹林
	イカル	<i>Eophona personata</i>													針葉樹林
ハタオドリ科	シメ	<i>Coccothraustes coccothraustes</i>													針葉樹林・広葉樹林
	スズメ	<i>Passer montanus</i>													林・ローン
	コムクドリ	<i>Sturnus philippensis</i>													針葉樹林・広葉樹林・ローン
ムクドリ科	ムクドリ	<i>Sturnus cineraceus</i>													針葉樹林・広葉樹林・ローン
	カケス	<i>Garrulus glandarius</i>													林・ローン
カラス科	ハシボトガラス	<i>Corvus corone</i>													林・ローン
	ハシボトガラス	<i>Corvus macrorhynchos</i>													林・ローン
キジ科	コウライキジ	<i>Phasianus colchicus karpowi</i>													明るい低木林・ローンの縁
ハト科	ドバト	<i>Columba livia</i>													ローン

観察期間：1985～1994

凡例

普通

希

極希